取扱説明書

G-Ignition™

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

- **最新のソフトウェアおよび取扱説明書は、当社のWeb サイトからダウンロードできます。**
  http://www.eizo.co.jp

1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

目次 3

準備編 4

第 1 章　はじめに 5

1-1.　特長 5

1-2.　動作条件 6

第 2 章　セットアップ 7

2-1.　インストールする 7

2-2.　アイコン表示 8

2-3.　起動と終了 8

- G-Ignitionの終了 8
- G-Ignitionの起動 8

2-4.　アンインストールする 9

- Windows 10 9
- Windows 8.1 9
- Windows 8 9
- Windows 7 9

使用編 10

第 3 章　ソフトウェアの機能概要 11

3-1.　設定画面を表示する/切り替える 13

3-2.　設定画面を終了する 13

3-3.　バージョン情報を表示する 14

第 4 章　カラー調整 15

4-1.　カラー調整をおこなう 16

4-2.　カラー調整データをコンピュータに
エクスポートする 17

4-3.　既存のカラー調整データをインポートする 18

第 5 章　G-Ignition Driveの利用 20

5-1.　G-Ignition Driveに登録する 21

- 新規登録 21
- 登録情報の変更 22

5-2.　ログイン/ログアウトする 23

- ログイン 23
- ログアウト 23

5-3.　カラー調整データをアップロードする 24

- アップロードしたデータの一覧表示 25
- アップロードしたデータの削除 25

5-4.　カラー調整データをインポートする 26

5-5.　インポート/アップロード情報を
ツイートする 28

第 6 章　オートカラー 29

6-1.　デフォルトカラーモードを設定する 30

6-2.　特定のアプリケーションにカラーモードを
関連付ける 30

第 7 章　ホットキー 31

7-1.　ホットキーを設定する 32

第 8 章　こんなときは 33

付録 34

用語集 35

商標 36

準備編

第 1 章　はじめに

G-Ignitionは、USBインターフェースを介して、マウスとキーボードを使ってコンピュータからモニターを調整するソフトウェアです。

1-1. 特長

● カラー調整

モニターのカラー調整機能をソフトウェア上からコントロールすることができます。

- カラー調整データをファイルとして保存
  調整値をファイルとして保存し、他のコンピュータで読み込むことができます。
- クラウド機能/Twitterとの連動
  カラー調整データをG-Ignition Driveにアップロードし、他のユーザーと共有したり、他のユーザーがG-Ignition Driveにアップしたデータをインポートすることができます。さらに、Twitterと連動して他のユーザーと情報交換することができます。
- マルチモニター環境に対応
  同一機種のマルチモニター環境であれば、一括してカラー調整をおこなうことができます。

● オートカラー機能

それぞれのアプリケーションにカラーモードを登録することで、アプリケーションごとに自動でモニターのカラーモードを切り替えることができます。

参考：使用例

- カラーモードを特定のアプリケーション専用に調整し、オートカラー機能でそのアプリケーションに調整後のカラーモードを関連付ければ、アプリケーションを起動すると同時に専用のカラー設定に切り替わります。

● ホットキー設定

モニター本体の機能を、キーボードの任意のキーに割り当てることにより、キーボードからモニターを操作することができます。同一機種のマルチモニター環境であれば、一括してホットキーを登録することができます。

● カラープロファイルの自動適用

G-Ignitionを起動すると、ご使用の機種にあったカラープロファイル（色温度6500K、ガンマ2.2）がOSに自動的に適用されます。モニターのカラーモードを「Web/sRGB」（FS2434）、「Web」（FG2421）に設定して使用する場合に適切なカラーマネージメントがおこなわれます。

1-2. 動作条件

G-Ignitionを使用するには、次の環境が必要です。

OS	Microsoft Windows 10（32ビット版および64ビット版） Microsoft Windows 8.1 Update 1（32ビット版および64ビット版） Microsoft Windows 8（32ビット版および64ビット版） Microsoft Windows 7 Service Pack 1（32ビット版および64ビット版）
コンピュータ	USBポート標準搭載
モニター	EIZO FORISシリーズ※1
ビデオカード	OpenGL 2.0以上の動作条件を満たすこと

※1 対応モニターに関する最新情報は、当社のWebサイトを参照してください。
http://www.eizo.co.jp

注意点

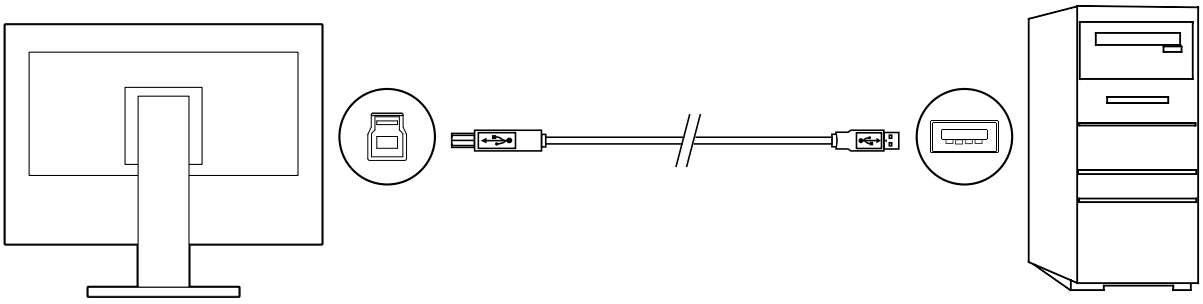
- 次のソフトウェアはG-Ignitionと同時に使用することができません。次のソフトウェアがインストールされている場合は、G-Ignitionのインストール時にアンインストールされます。
  - ScreenManager Pro
  - ScreenManager Pro for Gaming
  - ScreenManager Pro for LCD
  - ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)
  - ScreenManager Pro for Medical
  - EIZO EcoView NET Client
- ヘルプおよびG-Ignition Driveを利用する場合は、インターネット環境が必要です。

第 2 章　セットアップ

2-1. インストールする

1. USBケーブルを接続します。

コンピュータのUSBダウンストリームポートとモニターのUSBアップストリームポートをUSBケーブルで接続します。



参考

- USB機器のセットアップについては、モニターの取扱説明書を参照してください。

2. ダウンロードしたファイルを解凍後、「Launcher.exe」をダブルクリックします。

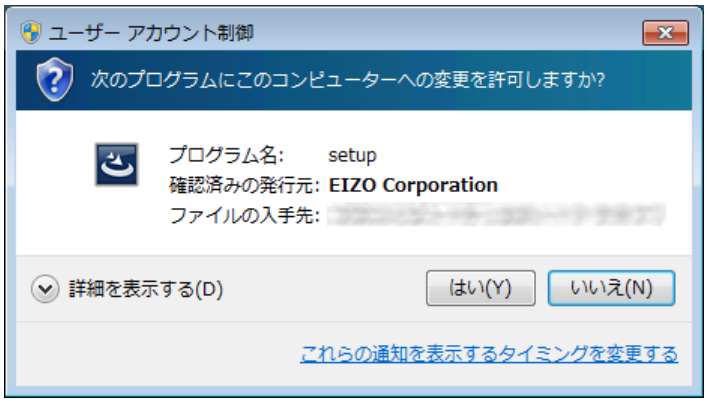
メニュー画面が表示されますので、「G-Ignition」をクリックします。

3. ソフトウェアをインストールします。

「インストール」をクリックすると、インストーラが起動します。

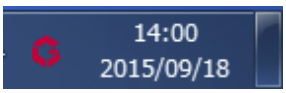
参考

- 「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示される場合があります。
  「はい」をクリックすると、メニューが起動します。



4. 画面の指示に従ってインストールします。

インストールが完了すると、G-Ignitionが起動し、アイコンがタスクトレイに表示されます。
G-Ignitionを起動すると、ご使用の機種に最適なカラープロファイル（色温度6500K、ガンマ2.2）が自動的に適用されます。モニターのカラーモードを「Web/sRGB」（FS2434）、「Web」（FG2421）に設定して使用する場合に最適なカラーマッチングが可能になります。



2-2. アイコン表示

G-Ignition起動中はタスクトレイにアイコンが表示されます。動作状態により、アイコン表示が変化します。

	G-Ignition は使用可能です。
	G-Ignition は使用できません。ソフトウェアがモニターを認識できていません。USB ケーブルが正しく接続されているか確認してみてください。それでもカラー表示されない場合は、コンピュータの電源を切り、再度電源を入れてみてください。

2-3. 起動と終了

G-Ignitionはインストール後、タスクトレイに常駐します。コンピュータを使用している間は、常に起動状態となるため、通常は起動に特別な操作をおこなう必要はありません。故意にG-Ignitionを終了した場合のみ、起動する必要があります。

● G-Ignitionの終了

G-Ignitionを終了（常駐を解除）したい場合は、タスクトレイのG-Ignitionアイコンを右クリックし、「終了」を選択します。

参考

- 設定画面の表示中は、終了できません。
- G-Ignition終了後にコンピュータを再起動した場合、G-Ignitionは自動的に起動します。

● G-Ignitionの起動

終了したG-Ignitionを再度起動するには、以下の操作をおこないます。
G-Ignitionが起動し、タスクトレイにG-Ignitionのアイコンが表示されます。

Windows 10の場合：

「スタート」-「すべてのアプリ」-「EIZO」-「G-Ignition Ver. x.x.x」をクリックします。

Windows 8.1の場合：

「スタート」画面で ⓓ をクリックし、「アプリ」画面から「G-Ignition Ver. x.x.x」を選択します。

Windows 8の場合：

「スタート」画面で「G-Ignition Ver. x.x.x」をクリックします。

Windows 7の場合：

「スタート」-「すべてのプログラム」-「EIZO」-「G-Ignition」-「G-Ignition Ver. x.x.x」をクリックします。

2-4. アンインストールする

● Windows 10

手順

1. 「スタート」ー「設定」ー「システム」ー「アプリと機能」を選択します。
2. リストから「G-Ignition」を選択し、「アンインストール」をクリックします。
3. 画面の指示に従い、ソフトウェアをアンインストールします。

● Windows 8.1

手順

1. 「スタート」画面下の ⓓ をクリックします。
   「アプリ」画面が表示されます。
2. 「Windowsシステムツール」ー「コントロールパネル」ー「プログラム」ー「プログラムのアンインストール」を選択します。
3. リストから「G-Ignition」を選択し、ダブルクリックします。
4. 画面の指示に従い、ソフトウェアをアンインストールします。

● Windows 8

手順

1. 「スタート」画面上のタイルがない場所で右クリックします。
   画面の下部にアプリコマンドが表示されます。
2. 「すべてのアプリ」ー「Windowsシステムツール」ー「コントロールパネル」ー「プログラム」ー「プログラムのアンインストール」を選択します。
3. リストから「G-Ignition」を選択し、ダブルクリックします。
4. 画面の指示に従い、ソフトウェアをアンインストールします。

● Windows 7

手順

1. 「スタート」ー「コントロールパネル」ー「プログラム」ー 「プログラムのアンインストール」を選択します。
2. リストから「G-Ignition」を選択し、「アンインストール」をクリックします。
3. 画面の指示に従い、ソフトウェアをアンインストールします。

使用編

第 3 章　ソフトウェアの機能概要

G-Ignitionでは、以下の 3 つの設定画面から、モニターに対してさまざまな設定/調整をおこなうことができます。

「Color Configuration」（カラー設定画面）

- モニターのカラー調整をおこないます（「第 4 章 カラー調整」（P.15）参照）。
- カラー調整データをファイルに保存し、他のコンピュータで読み込んだり、G-Ignition Driveを通してカラー調整データを共有します（「第 4 章 カラー調整」（P.15）参照）。
- Twitterで、他のユーザーと情報交換をします（「第 5 章 G-Ignition Driveの利用」（P.20）参照）。

「Auto Color」（オートカラー設定画面）

- アプリケーションに好きなカラーモードを登録することで、アプリケーションごとにモニターのカラーモードを自動で切り替えることができます（「第 6 章 オートカラー」（P.29）参照）。

「Hot Keys」（ホットキー設定画面）

- モニター本体の機能を、キーボードの任意のキーに割り当てることにより、キーボードからモニターを操作することができます（「第 7 章 ホットキー」（P.31）参照）。

3-1. 設定画面を表示する/切り替える

1. タスクトレイのG-Ignitionアイコンを右クリックし、リストから「G-Ignitionの設定」を選択します。

G-Ignitionの設定画面が表示されます。

参考

- タスクトレイのG-Ignitionアイコンをダブルクリックしても設定画面が表示されます。
- タスクトレイにG-Ignitionアイコンがない場合、「2-3. 起動と終了」（P.8）を参照してソフトウェアを起動してください。タスクトレイにG-Ignitionのアイコンが表示されます。

注意点

- 設定画面の表示中にUSBケーブルの抜き差しをおこなわないでください。設定が反映されないまま、画面が終了する場合があります。
- 「Color Configuration / Import Data」（インポート画面）、「Color Configuration / Adjust」（カラー調整画面）、「Color Configuration / Export Data」（エクスポート画面）を表示している場合は設定画面を切り替えることはできません。「Color Configuration」（カラー設定画面）に戻ってから設定画面を切り替えてください。

2. 「設定画面切替メニュー」から表示する設定画面を選択します。

設定画面が切り替わります。

3-2. 設定画面を終了する

各設定画面の右上にある ✕ をクリックします。

3-3. バージョン情報を表示する

タスクトレイのG-Ignitionアイコンを右クリックし、リストから「バージョン情報」を選択します。

参考

- バージョン情報にあるURLをクリックすると、G-Ignitionで利用しているオープンソースライセンス情報が表示されます。

第 4 章　カラー調整

カラーモードごとに、個別にカラー調整をおこなうことができます。また、カラー調整データのインポートおよびエクスポートをおこなうこともできます。

注意点

- カラー調整データのインポートおよびエクスポートは、Userモードでのみおこなうことができます。

「Color Configuration」（カラー設定画面）

No.	名称	説明
1	モニター選択メニュー	複数のモニターを接続している場合、カラー調整をするモニターを選択します（「4-1. カラー調整をおこなう」（P.16）参照）。
2	接続中の同一機種すべてに適用する	接続中のすべての同一機種に調整結果を反映することができます（「4-1. カラー調整をおこなう」（P.16）参照）。
3	モニター表示	選択したモニターの機種が表示されます。
4	モード選択プルダウンメニュー	選択したモニターに適用するカラーモードを選択します（「4-1. カラー調整をおこなう」（P.16）参照）。
5	カラー調整	カラーの各項目を調整する画面を表示します（「4-1. カラー調整をおこなう」（P.16）参照）。
6	エクスポート	設定したカラー調整情報をファイルに書き出します（「4-2. カラー調整データをコンピュータにエクスポートする」（P.17））参照）。
7	インポート	カラー調整情報をファイルから読み込みます（「4-3. 既存のカラー調整データをインポートする」（P.18）参照）。
8	インフォメーション表示	カラー調整に関する情報が表示されます。 各調整項目の設定時には、各項目のヒント情報が表示されます。

参考

- 通常は最後に調整したカラーモードがモニターに適用されます。
- カラー調整終了後は、使用するアプリケーションによってカラーモードを自動で切り替えることもできます（「第 6 章 オートカラー」（P.29）参照）。

注意点

- 次の場合、カラー調整中であっても調整をすることができなくなります。
  - モニターの電源が切れる
  - モニターが省電力モードに移行する

  再度電源を入れる、または、省電力モードから復帰すると、調整できる状態に戻ります。

4-1. カラー調整をおこなう

1. マルチモニター環境の場合、対象のモニターをメニューから選択します。

2. 接続されている同一機種すべてに、同じ設定を適用したい場合は、「接続中の同一機種すべてに適用する」をチェックします。

3. プルダウンメニューから、カラー調整の対象となるカラーモードを選択します。

選択された機種が対応しているカラーモードが表示されます。表示されるカラーモードは、機種によって異なります。

4. 「カラー調整」をクリックします。

「Color Configuration / Adjust」（カラー調整画面）が表示されます。

5. 各パラメータを調整します。

各パラメーターの数値表示部分をクリックして数値を入力するか、またはバー表示部分をクリックして調整します。

モニターと同様、「明るさ」や「コントラスト」などの調整ができます。この画面で調整できる項目は、ご使用のモニターのカラー調整機能で調整できる項目と同じです。（機種ごとのカラー調整項目については、モニターの取扱説明書を参照してください。）

参考

- インフォメーション表示部には、マウスカーソルを重ねている調整項目についてのヒント情報が表示されます。
- 「Color Configuration / Adjust」（カラー調整画面の上部にある ）をクリックすると、お使いのブラウザが起動し、当社のwebサイトが開きます。
- 「初期化」をクリックすると、現在調整しているカラーモードの全項目が初期設定に戻ります。
- 「キャンセル」をクリックすると、各項目の設定を変更する前の状態に戻ります。画面は、「Color Configuration」（カラー設定画面）に戻ります。

6. 「適用」をクリックします。

調整後の値が適用され、画面が「Color Configuration」（カラー設定画面）に戻ります。

参考

- 項目の値を調整中に、モニター側の操作によってカラーモードを変更した場合、「Color Configuration/ Adjust」（カラー調整画面）の設定値も、変更後のカラーモードの値に切り替わります。

4-2. カラー調整データをコンピュータにエクスポートする

設定したカラー調整データを、ファイルとして書き出すことができます。

1. 「Color Configuration」（カラー設定画面）で、対象となるモニターと適用するカラーモードを選択します。

「4-1. カラー調整をおこなう」（P.16）を参照してください。

注意点

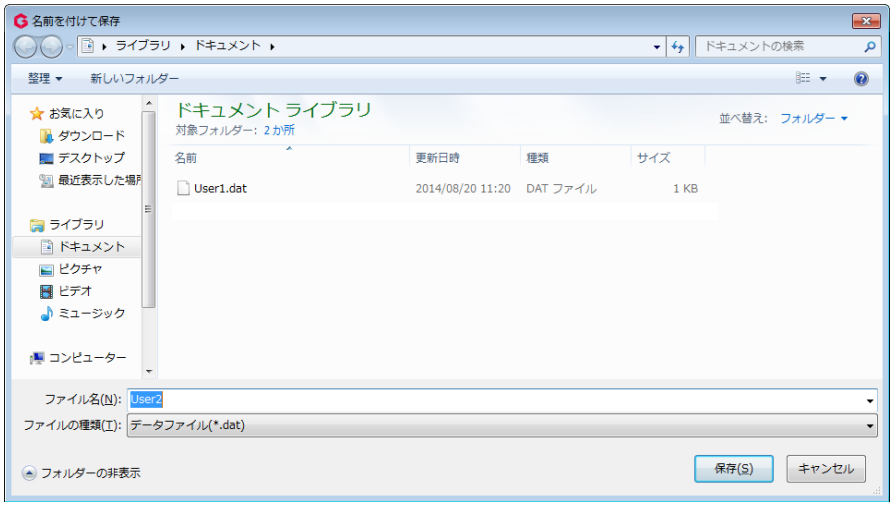
- カラーモードは、Userモードから選択してください。カラー調整データのエクスポートは、Userモードでのみおこなうことができます。

2. 「エクスポート」をクリックします。

「Color Configuration / Export Data」（エクスポート画面）が表示されます。

3. 「コンピュータにエクスポート」の「エクスポート」をクリックします。

4. ファイル名を指定し、「保存」をクリックします。



ファイルの書き出しが完了します。

5. 「完了」をクリックします。

画面が「Color Configuration」（カラー設定画面）に戻ります。

参考

- カラー調整データは、バイナリファイル（.dat）として保存されます。
- G-Ignition Driveにカラー調整データをエクスポートする方法は、「第 5 章 G-Ignition Driveの利用」（P.20）を参照してください。

4-3. 既存のカラー調整データをインポートする

コンピュータ上のファイルからカラー調整データを読み込むことができます。同一機種のマルチモニター環境の場合、一括で調整項目を適用することもできます。

参考

- ScreenManager Pro for Gamingから書き出したデータをG-Ignitionに読み込むこともできます。

1. 「Color Configuration」（カラー設定画面）で、対象となるモニターと適用するカラーモードを選択します。

2. 接続されている同一機種すべてに同じ設定を適用したい場合は、「接続中の同一機種すべてに適用する」チェックボックスをチェックします。

「4-1. カラー調整をおこなう」（P.16）を参照してください。

注意点

- カラーモードは、Userモードから選択してください。カラー調整データのインポートは、Userモードでのみおこなうことができます。

3. 「インポート」をクリックします。

「Color Configuration / Import Data」（インポート画面）が表示されます。

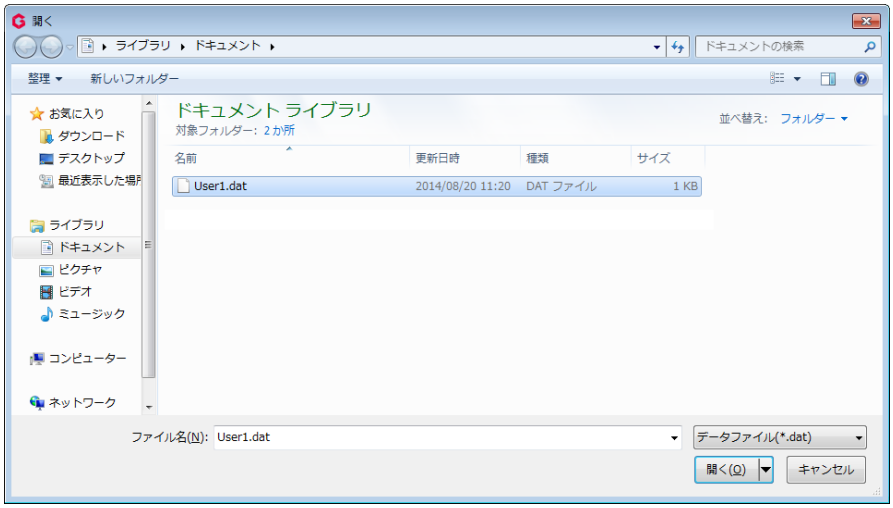
4. 「コンピュータからインポート」の「インポート」をクリックします。

参考

- G-Ignition Driveからカラー調整データをインポートする方法は、「第 5 章 G-Ignition Driveの利用」（P.20）を参照してください。

5. 読み込むファイルを選択し、「開く」をクリックします。

ファイルが読み込まれ、モニターにカラー調整データが適用されます。



6. 「完了」をクリックします。

画面が「Color Configuration」（カラー設定画面）に戻ります。

第 5 章　G-Ignition Driveの利用

G-Ignition Driveでは次のことができます。

- カラー調整データのアップロード
  カラー調整をした後、データをアップロードすることができます。
- カラー調整データのインポート
  G-Ignition Driveにアップロードされているプロゲーマーや他のゲームプレイヤーのカラー調整データをインポートことができます。
- Twiterによる情報交換
  アップロードまたはインポートしたカラー調整データの情報をTwitterでツイートすることにより、他のユーザーと情報を共有することができます。

G-Ignition Driveにデータをアップロードするには、G-Ignition Drive登録とログインが必要です。
アップロードおよびインポートの手続きは、次の流れでおこないます。

新規登録（初回のみ必要）
「5-1. G-Ignition Driveに登録する」（P.21）参照

↓

ログイン（毎回必要）
「5-2. ログイン/ログアウトする」（P.23）参照

↓

アップロード
「5-3. カラー調整データをアップロードする」（P.24）参照

↓

インポート※1
「5-4. カラー調整データをインポートする」（P.26）参照

↓

Twitterで共有
「5-5. インポート/アップロード情報をツイートする」（P.28）参照

※1 「アップロードされたデーター覧」に自分のアップロードしたデータのみを表示する場合は、G-Ignition Driveにログインする必要があります。

注意点

- カラー調整データのエクスポートおよびインポートは、Userモードでのみおこなうことができます。

5-1. G-Ignition Driveに登録する

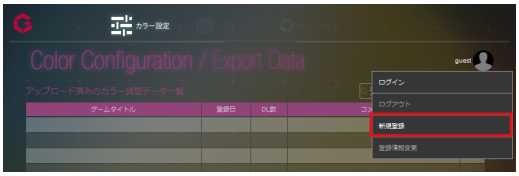
● 新規登録

手順

1. 「Color Configuration」（カラー設定画面）で、「インポート」または「エクスポート」をクリックします。
   「Color Configuration / Import」（インポート画面）または「Color Configuration / Export」（エクスポート画面）が表示されます。
2. 画面右上の をクリックし、表示されるメニューから、「新規登録」を選択します。

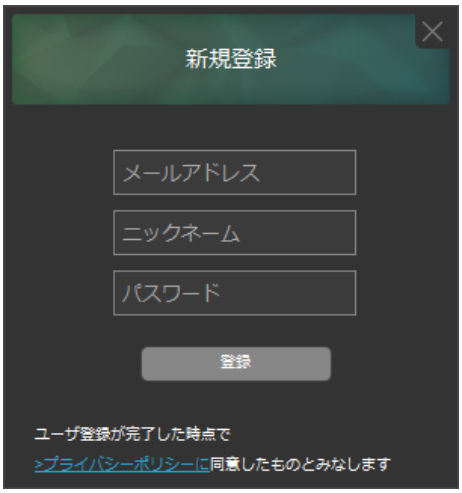
「Color Configuration / Import」
（インポート画面）

「Color Configuration / Export」
（エクスポート画面）



「新規登録」画面が表示されます。

3. メールアドレス、ニックネーム、パスワードを入力して、「登録」をクリックします。
   ご登録のメールアドレスに「本登録のお願い」メールが送信されます。



各項目の入力条件は、次のとおりです。

メールアドレス	• 半角英数記号 6～256文字でメールアドレス形式のもの。 • G-Ignition Driveにまだ登録されていないもの。
ニックネーム	• 1～48文字で自由に設定。 • G-Ignition Driveにまだ登録されていないもの。
パスワード	半角英数字6～48文字で自由に設定。

注意点

- 入力したメールアドレス、パスワードは、忘れないように控えておいてください。メールアドレスとパスワードを忘れると、次回ログインすることができません。
- ユーザー登録をすると、当社のプライバシーポリシーに同意したものとみなされます。画面下部の「プライバシーポリシー」をクリックして、内容を確認の上、登録してください。

4. 「閉じる」をクリックします。
5. 仮登録完了通知メールが、入力したメールアドレスに届いていることを確認します。
6. メール本文に記載されている、本登録用のURLにアクセスします。
   登録完了画面が表示されます。

注意点

- 仮登録が完了してから24時間を過ぎると、本登録用のURLは無効になります。
- G-Ignition からのメールが受信されない場合は、「admin@g-ignition.com」からのメールを受信できるようにメールの設定を変更してください。

● 登録情報の変更

手順

1. 「Color Configuration / Import」（インポート画面）または「Color Configuration / Export」（エクスポート画面）右上の をクリックし、表示されるメニューから、「登録情報変更」を選択します。
2. 変更したい項目について、変更後の情報を入力します。
   「現在のパスワード」には、変更前のパスワードを入力します。
   パスワードを忘れたことによる変更の場合は、「現在のパスワード」に、仮パスワードを入力します。
3. 「変更」をクリックします。
   登録情報変更を受け付けた旨のメッセージが表示されます。
4. 「閉じる」をクリックします。
5. 登録情報変更受付の通知メールを受信します。
6. メール本文に記載されている、本登録用のURLにアクセスします。
   登録完了画面が表示されます。

注意点

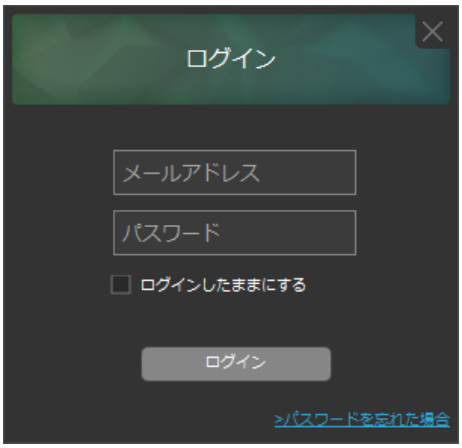
- 仮登録が完了してから24時間を過ぎると、本登録用のURLは無効になります。

5-2. ログイン/ログアウトする

● ログイン

手順

1. 「Color Configuration / Import」（インポート画面）または「Color Configuration / Export」（エクスポート画面）右上の をクリックし、表示されるメニューから、「ログイン」を選択します。
2. 登録したメールアドレス、パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



画面が「Color Configuration / Import」（インポート画面）または「Color Configuration / Export」（エクスポート画面）に戻ります。

参考

- 「ログイン」画面で「ログインしたままにする」をチェックすると、G-Ignitionを起動している間はログイン状態が維持され、毎回ログインする必要がありません。
- パスワードを忘れた場合は、次の手順に従って、パスワードの再設定をおこなってください。
  1. 「パスワードを忘れた場合」をクリックします。
  2. 表示された「仮パスワードの送信」画面に、登録時に入力したメールアドレスを入力し、送信をクリックします。
  3. 仮パスワードが記載されたメールが届いたら、メール本文に記載されている、本登録用のURLにアクセスします。
  4. 仮パスワードでログインした後、登録情報の変更によって、新しいパスワードを設定します（「登録情報の変更」（P.22）参照）。

● ログアウト

手順

1. 「Color Configuration / Import」（インポート画面）または「Color Configuration / Export」（エクスポート画面）右上の をクリックし、表示されるメニューから、「ログアウト」を選択します。

5-3. カラー調整データをアップロードする

注意点

・カラー調整データをG-Ignition Driveへアップロードしたり、アップロード済みのデータを表示し、削除するためには、ログインが必要です。また、初めてログインする前には、新規登録が必要です（「5-1. G-Ignition Driveに登録する」（P.21）、「5-2. ログイン/ログアウトする」（P.23）参照）。

1. 「Color Configuration」（カラー設定画面）で、カラー調整の対象となるモニターとカラーモードを選択します。

「4-1. カラー調整をおこなう」（P.16）を参照してください。

2. 「エクスポート」をクリックします。

「Color Configuration / Export Data」（エクスポート画面）が表示されます。

No.	名称	説明
1	「データを絞り込む」入力ボックス	アップロード済みデータの表示を絞り込みたいときに使用します。
2	アップロード済みのデーター覧 ※1	自分がこれまでにアップロードしたカラー調整データと、その情報が表示されます。
3	「G-Ignition Driveにアップロード」エリア	アップロードしたいカラー調整データの情報や、アップロードの条件を指定します。

※1 「アップロード済みのデーター覧」はログイン後に表示されます。

3. G-Ignition Driveへログインします。

「5-2. ログイン/ログアウトする」（P.23）を参照してください。

4. 「G-Ignition Driveにアップロード」エリアの「ゲームタイトル」で、対象となるゲームを選択し、クリックします。
または、ゲームタイトルを自由に入力します。

5. **コメントをつけたい場合は、「コメント」欄に入力します。**

6. **自分だけがダウンロードできるようにしたい場合は、「すべてのユーザーに公開する」のチェックを外します。**

7. **「アップロード」をクリックします。**

続いて、アップロードしたデータの情報をTwitterでツイートすることができます。
「5-5. インポート/アップロード情報をツイートする」（P.28）を参照してください。

● アップロードしたデータの一覧表示

ログインした状態では、自分がこれまでにアップロードしたデータが「アップロード済みのデータ一覧」に表示されています。

参考

- 表示するデータを絞り込みたい場合は、「データを絞り込む」入力ボックスに、絞り込み条件としたい文字列を入力します。「ゲームタイトル」「登録日」「コメント」のいずれかが、入力した文字列と一致するデータのみが表示されます。
- データは、登録日時の新しいものから順に表示されます。表示の順序を変更したい場合は、「ゲームタイトル」「登録日」「DL数」「コメント」のうち、並べ替えのキーにしたい項目をクリックします。
- クリックするごとに、表示順が、昇順→降順と切り替わります。

● アップロードしたデータの削除

手順

1. 「アップロード済みのデータ一覧」に表示されているデータから、削除したいものを選択して、右端の をクリックします。
2. 確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

5-4. カラー調整データをインポートする

注意点

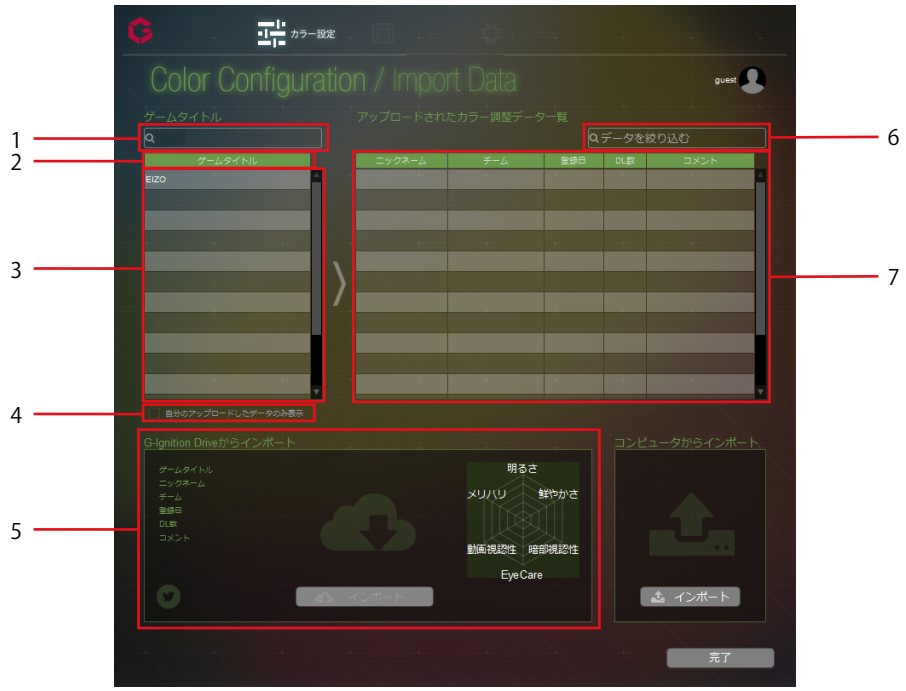
- 自分のアップロードしたデータのみを表示する場合は、G-Ignition Driveにログインする必要があります。ログイン後、「自分のアップロードしたデータのみ表示」を有効にしてください（「5-2. ログイン/ログアウトする」（P.23）参照）。

1. 「Color Configurtion」（カラー設定画面）で、カラー調整の対象となるモニターとカラーモードを選択します。

「4-1. カラー調整をおこなう」（P.16）を参照してください。

2. 「インポート」をクリックします。

「Color Configuration / Import Data」（インポート画面）が表示されます。



No.	名称	説明
1	「ゲームタイトルを絞り込む」入力ボックス	ゲームタイトルの表示を絞り込みたいときに使用します。
2	「ゲームタイトル」タイトルバー	ゲームタイトルの表示順を切り替えるときに使用します。
3	「ゲームタイトル」表示欄	インポートできるデータのゲームタイトルが一覧表示されます。
4	自分のアップロードしたデータのみ表示	自分がアップロードしたデータのみ表示したいときに使用します。
5	「G-Ignition Driveからインポート」エリア	選択したカラー調整データの情報が表示されます。「インポート」をクリックすると、データのインポートが実行されます。
6	「データを絞り込む」入力ボックス	データの表示を絞り込みたいときに使用します。
7	アップロードされたデーター覧	インポートできるデータが一覧表示されます。「オーナー」、「チーム」、「登録日」に加え、「DL数」（過去にインポートされた回数）、「コメント」も表示されます。インポートするデータを選ぶ際の参考にしてください。

参考

- 当社がサポートするプロゲームチームがカラー調整したデータには、データー覧にチーム名が表示されます。

3. 「ゲームタイトル」に表示されているゲームから、お好みのゲームを選択してクリックします。

「アップロードされたデータ一覧」に、選択したゲームに関連付けされたカラー調整データが表示されます。

参考

- 表示するゲームタイトルを絞り込みたい場合は、「ゲームタイトルを絞り込む」入力ボックスに、見つけたいゲームのタイトルまたはその一部を入力します。入力した文字列をタイトルの一部とするゲームのみが表示されます。
- ゲームタイトルの表示は、アルファベット順（昇順）です。「ゲームタイトル」を左クリックすると、表示が降順に切り替わります。
- 「自分のアップロードしたデータのみ表示」をチェックすると、自分がアップロードしたデータのみが表示されます。

4. 「アップロードされたデータ一覧」から、インポートしたいデータを選択してクリックします。

「G-Ignition Driveからインポート」エリアに、選択したデータの情報が表示されます。

右の評価チャートでは、「明るさ」「鮮やかさ」「暗部視認性」「Eyecare」「動画視認性」「メリハリ」の各評価軸に対する評価の高さを、視覚的に見ることができます。

参考

- 表示するデータを絞り込みたい場合は、「データを絞り込む」入力ボックスに、絞り込み条件としたい文字列を入力します。「オーナー」「チーム」「登録日」「コメント」のいずれかが、入力した文字列と一致するデータのみが表示されます。
- データは、登録日時の新しいものから順に表示されます。表示の順序を変更したい場合は、「オーナー」「チーム」「登録日」「DL数」「コメント」のうち、並べ替えのキーにしたい項目をクリックします。
- クリックするごとに、表示順が、昇順→降順と切り替わります。

5. 「適用」をクリックします。

対象のモニターの選択したカラーモードに調整値がインポートされます。

5-5. インポート/アップロード情報をツイートする

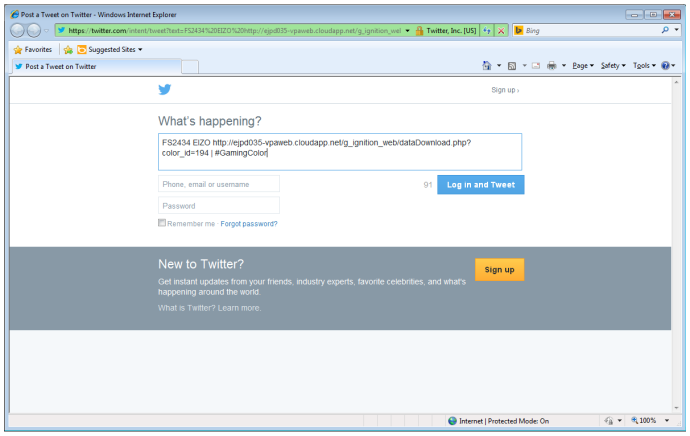
1. G-Ignition Driveにカラー調整データをアップロード、またはG-Ignition Driveからカラー調整データをインポートした後に、画面左下のTwitterアイコンをクリックします。

「Color Configuration / Import」
（インポート画面）

「Color Configuration / Export」
（エクスポート画面）

2. お使いのブラウザが起動し、ツイート画面が表示されます。

画面例 ※1



※1 ツイート画面は、TwitterのWebサービスの仕様により異なる場合があります。

3. 本文を入力し、お持ちのTwitterアカウントでログインして、ツイートします。

Twitterのサービスについて、詳しくはTwitterのWebサイトを参照してください。

第 6 章　オートカラー

アプリケーションにそれぞれカラーモードを登録することで、アプリケーションごとにモニターのカラーモードを自動で切り替えることができます。

特定のアプリケーションがアクティブの場合は、関連付けたカラーモードが適用されます。
関連付けが未設定のアプリケーションがアクティブの場合は、「デフォルトカラーモード」が適用されます。

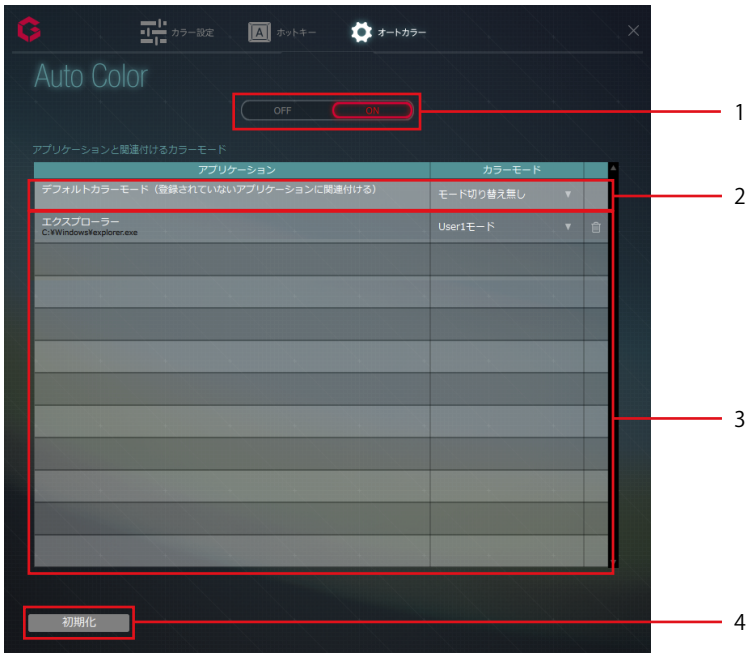
参考

- マルチモニター環境の場合、同じカラーモードであっても、個体差やカラー調整値によっては表示の色調が異なる場合があります。

注意点

- オートカラーを機能させるためには、タスクトレイにG-Ignitionアイコンが常駐している必要があります（「2-3. 起動と終了」（P.8）参照）。
- Windowsのデスクトップに対しては、カラーモードを登録できません。

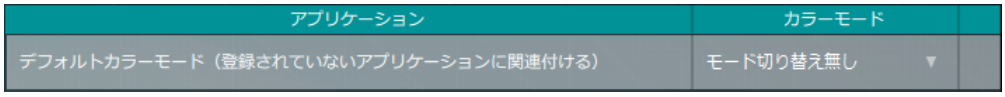
「Auto Color」（オートカラー設定画面）



No.	名称	説明
1	動作スイッチ	オートカラー機能の「ON」/「OFF」を切り替えます（「6-1. デフォルトカラーモードを設定する」（P.30）参照）。
2	「デフォルトカラーモード」設定欄	特定のカラーモードを設定されていないアプリケーションがアクティブになった時には、ここで設定されているカラーモードになります（「6-1. デフォルトカラーモードを設定する」（P.30）参照）。
3	各アプリケーションへのカラーモード設定欄	カラーモードを設定したいアプリケーションと、カラーモードを設定します。（「6-2. 特定のアプリケーションにカラーモードを関連付ける」（P.30）参照）
4	初期化	設定を解除します。

6-1. デフォルトカラーモードを設定する

通常のアプリケーションで使用するカラーモードを設定します。



1. 動作スイッチの「ON」をクリックします。

2. 「デフォルトカラーモード（登録されてないアプリケーションに関連付ける）」の「カラーモード」リストから、割り当てたいカラーモードを選択して設定します。

参考

- 「モード切り替えなし」を選択するとカラーモードは表示状態のまま切り替わりません。

6-2. 特定のアプリケーションにカラーモードを関連付ける

参考

- リストには、起動中のアプリケーション名と、すでに登録されているアプリケーション名が表示されます。ご希望のアプリケーションが表示されない場合は、そのアプリケーションを起動してください。２回目以降は、登録されているため、起動する必要がなくなります。
- Windowsのデスクトップに対しては、カラーモードを登録できません。
- モニター機種によって、プルダウンメニューに表示されるカラーモードが異なります。
- カラーモードの詳細は、モニターの取扱説明書を参照してください。

1. カラーモードを設定したいアプリケーションの「カラーモード」プルダウンメニューから、割り当てたいカラーモードを選択します。

登録したアプリケーションがアクティブになったときに、モニターのカラーモードがアプリケーションに関連付けられているカラーモードに自動で切り替わります。

参考

- 画面右端の をクリックすると、対象のアプリケーションの設定が解除されます。
- すべてのアプリケーションに対する設定を解除したい場合は、設定画面左下の「初期化」をクリックします。

第 7 章　ホットキー

モニター本体の機能をキーボードの任意のキーに割り当てることで、キーボード操作によりモニターを操作することができます。

注意点

- G-Ignition常駐時は、G-Ignitionで設定したキーを他のアプリケーションで使用できません。アプリケーションで使用するホットキーと重複しないようご注意ください。
- 使用しているアプリケーションに応じてホットキー設定を変えることはできません。

参考

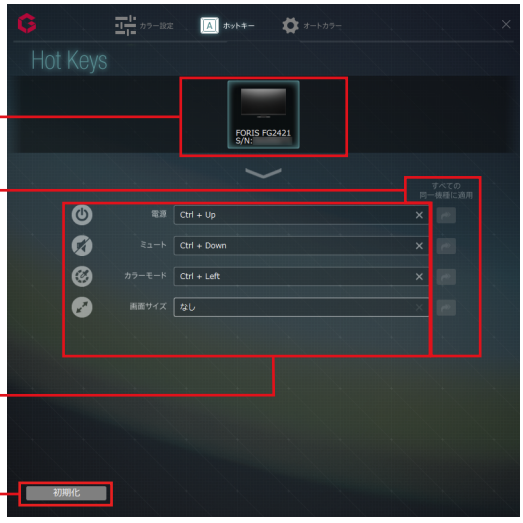
- 異なる機種にそれぞれ同じホットキーを割り当てた場合、一度のキー操作ですべてのモニターが動作します。

「Hot Keys」（ホットキー設定画面）

登録できるホットキーは、モニターの機種によって異なります。以下の画面を参照してください。

FS2434の場合

FG2421の場合



No.	名称	説明
1	モニター選択メニュー	ホットキーの設定をするモニターを選択します。
2	すべての同一機種に適用	接続中のすべての同一機種に同じホットキーを設定することができます。
3	ホットキー設定ボックス	各機能に割り当てるホットキーを入力します。
4	初期化	選択中のモニターのホットキー設定をすべて解除します。

7-1. ホットキーを設定する

1. マルチモニター環境の場合、設定するモニターをメニューから選択します。

2. ホットキーを設定します。

ホットキーを設定する項目のボックスにカーソルを移動し、割り当てたいキーを押します。複数のキーの組み合わせを割り当てたい場合は、複数のキーを同時に押します。
入力を取り消したい場合は、「Delete」キーまたは「Back Space」キーを押します。ボックスに「なし」と表示され、入力が取り消されます。また、 をクリックした場合も入力を取り消すことができます。

参考

- 次のようなキーは設定できません。
  - 装飾キー単独（Shift、Ctrl、Alt）または装飾キーだけの組み合わせ（「Ctrl+Shift」など）
  - システムに登録されているキーの組み合わせ（「Ctrl+Alt+Delete」など）
  - 次のキーの、単独での使用または装飾キーとの組み合わせ
    Tab、Enter、Esc、Delete、BackSpace、Windows
  - 「F12」キー単独
  - 「Shift+Caps Lock」キー
- 装飾キーを使用する場合のみ、複数キーの組み合わせを設定することができます。
- 画面左下の「初期化」をクリックすると、選択されているモニターについて、すべてのホットキー設定が解除されます。

3. 設定したホットキーを、接続されている同一機種すべてに適用したい場合は、右端の「すべての同一機種に適用」の をチェックします。

第 8 章　こんなときは

症状	原因と対処方法
1. アイコンがタスクトレイにない	• Windows 10の場合、「スタート」-「すべてのアプリ」-「EIZO」-「G-Ignition Ver. x.x.x」をクリックして起動します。 • Windows 8.1の場合、「スタート」画面で ⓓ をクリックし、「アプリ」画面から「G-Ignition Ver. x.x.x」を選択して起動します。 • Windows 8の場合、「スタート」画面で「G-Ignition Ver. x.x.x」クリックして起動します。 • Windows 7の場合、「スタート」-「すべてのプログラム」-「EIZO」-「G-Ignition」-「G-Ignition Ver. x.x.x」をクリックして起動します。 • アイコンが隠れている可能性があります。通知領域の横にある矢印をクリックして通知領域を拡大してみてください。
2. アイコンが白黒表示される 	• USBケーブルが接続されているか確認してください。 • コンピュータの電源を切り、再度電源を入れてみてください。 • G-Ignition対応モニターを接続しているか確認してください。
3. オートカラーが機能しない	• オートカラーを機能させるためには、タスクトレイにG-Ignitionアイコンが常駐している必要があります。 • 「Auto Color」（オートカラー設定画面）で、動作スイッチが「ON」になっているか確認してください。 • G-Ignitionの設定画面を終了してください。設定画面を終了すると設定が有効になります。
4. ホットキーが機能しない	• G-Ignitionの設定画面を終了してください。設定画面を終了すると設定が有効になります。 • ホットキーを機能させるためには、タスクトレイにG-Ignitionアイコンが常駐している必要があります。
5. G-Ignition Driveからカラー調整データをインポートする際、「ゲームタイトル」表示欄など、一部の欄が空白になっている	• 通信エラーが発生している可能性があります。インターネットの接続状態を確認してください。
6. G-Ignition Driveへカラー調整データをエクスポートする際、「エクスポート」をクリックするとエラーが出る	• エクスポートが完了する前に、モニター側の操作により、対象モニターのカラーモードがUserモード以外に変更された場合は、エクスポートができません。モニターのカラーモードをUserに戻してから、操作をやり直してください。
7. G-Ignition Driveにログインできない	• 通信エラーが発生している可能性があります。インターネットの接続状態を確認してください。 • メールアドレスまたはパスワードが間違っている可能性があります。入力したメールアドレスおよびパスワードが正しいことを確認してください。
8. G-Ignition からのメールが届かない	• メールがブロックされている可能性があります。「admin@g-ignition.com」からのメールを受信できるようにメールの設定を変更してみてください。

付録

用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：昼光色と呼ばれる白色
9300K：やや青みがかった白色

オーバードライブ

液晶画素の動作時にかける電位差を大きくすることによって、応答速度を向上させる技術で、一般的に液晶テレビなどに用いられています。動画内に頻繁に現れる中間階調域の応答速度を向上させることにより、残像の少ない、くっきりとした立体感豊かな表示を提供します。

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。

カラースペース

色を規定し、表現するための方法。輝度（Y）、青の色差（U）、赤の色差（V）により表現するYUVや赤（R）、緑（G）、青（B）の3色の階調により表現するRGBなどがあります。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。ガンマ値が低いと中間階調が明るく、ガンマ値が高いと中間階調が暗く表現されます。ガンマ値を変えてもコントラストは変わりません。コンテンツによって適切なガンマ値を選ぶ必要があります。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
Acrobat、Adobe、Adobe AIR、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ　システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。
AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。
Apple、ColorSync、eMac、iBook、iMac、iPad、Mac、MacBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、QuickTimeはApple Inc.の登録商標です。
ColorMunki、Eye-One、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。
Spyder3、Spyder4、Spyder5はDataColor Holding AGの商標です。
ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。
GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。
Japan Color、ジャパンカラーは一般社団法人日本印刷産業機械工業会および一般社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。
JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。
Linux はLinus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
NECは日本電気株式会社の登録商標です。
PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。
NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。
Intel、Intel Core、Pentium、Thunderboltは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。
PlayStation、PS3、PSP、プレイステーションは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。
Red HatはRed Hat, Inc.の登録商標です。
TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。
TwitterはTwitter, Inc.の米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
Windows、Windows Media、Windows Vista、SQL Server、Xbox 360、Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。
FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。
Kensington、MicroSaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。
EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。
ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Re/Vue、Screen Administrator、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。
C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。
その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

EIZO株式会社

http://www.eizo.co.jp

Copyright© 2014-2015 EIZO 株式会社 All rights reserved.

第 5 版　2015 年 9 月

03V25120E2

(U.M-G-IGNITION)